



建設コンサルタントBWB社が BIM検証(BIM Level 2 設計及び建設)を取得する事でのビジネス推進例

「BIM検証は、BIM及びデジタルソリューション一式を使用するプロジェクトの資本及び引渡し段階を通じて顧客をガイドする当社の能力を示します。

BSIによる検証により、当社の BIM 及びデジタル機能に対し信頼できる認識が得られます。」

Dave Peacock氏
BWB Consulting社
ビルディング&ビルトエンバロメント
部門 アソシエイトデジタルリード

BWB社について

エンジニアリング及び環境設計コンサルタントのBWB社は、建設プロジェクトの資本/引渡し段階の情報マネジメント、ISO 19650-2:2018(PAS 1192-2:2013)に従って、Building Information Modeling (BIM) Level 2 設計及び建設に関するBSI 認証をTier 1 リードデザイナーとして達成しました。

BSIによる検証では、BWB社が BIM Level 2の要求事項に準拠していることを実証しており、BIM Level 2の政府委託契約及び商業プロジェクトのTier 1リードデザイナーまたはTier 2サプライチェーンパートナーとして入札するための最高の地位にあります。

ISO 19650-2(PAS 1192-2) 検証:

- BIM Level 2設計及び建設に関する公共事業の「契約条件」要求事項への準拠を示す
- 顧客に対し、BIM Level 2の能力の証明/安心感を与える
- Tier 1のリードデザイナー及びTier 2のサプライチェーンパートナーとして、ビジネス資格を強化する
- デジタル変革及びビジネス効率を促進する
- 顧客とのコミュニケーション及びサプライチェーンコラボレーションの向上・商業及び小売顧客への安心感
- 他社と差別化し、競争上の優位を生み出す
- ビジネスの成長を支える

BWB社 企業背景

BWB社は、英国を代表する建設設計エンジニアリングコンサルタントの1つです。1990年にノッティンガムで設立され、現在は英国に7つのオフィスを構え、約300人の従業員を擁しています。2017年にグローバル輸送エンジニアリングの巨大グループCAFの一員になり大幅な拡大に着手しました。

建設業界でのより迅速で安価なソリューションを求める要求に応じて、BWB社は、堅牢で信頼性の高いプロジェクト提供へのより良い選択肢としてデジタル対応テクノロジーを採用しました。

BWB社はBIMやデジタルソリューションだけでなく、構造、環境、土木、機械及び電気工学設計、交通及び輸送、環境計画、洪水リスクを専門としています。一部の顧客及びプロジェクトに対しては、コンサルタントはTier1のリードデザイナーとして活動していますが、その他の場合はサプライチェーンのTier2メンバーです。どちらの役割においても、優良企業及び主要な公共機関が顧客として名を連ねています。

Building Information Modelling (BIM)

2016年4月以降、英国政府委託の建物及びインフラストラクチャの契約を獲得しようとする企業は、BIM Level 2機能の実証が求められます。BIMはソフトウェアベースのプロセスであり、大規模な建物及びインフラストラクチャプロジェクトにおいて関連する関係者が適切な情報を適切なタイミングで適切な形式で、サプライチェーン全体で確実に利用できるにします。プロジェクトの設計及び建設段階のBIM要求事項に対応するISO 19650-2(PAS 1192-2)など一連の規格がそれを支えています。

BIMのプロセスでは、開発段階でプロジェクトを構成するすべてのコンポーネントをまとめ、共通言語を作成し、知識を共有し、Tier 1請負業者から下請業者、サプライヤーまですべての関係者間における情報の透明性を高めます。BIMを使用すると、すべての関係者が、プロジェクトが進展するにつれて継続的に衝突や矛盾が生じそうな箇所を事前に確認することができます。

BSI認証を選んだ理由

BWB社は、ビルトエンバイロメント、輸送、インフラストラクチャ業界においてデジタル技術が新たな展望を開き、改善を推進すると考えています。その結果、政府がBIMを義務付けるはるか前からBIMに転換を進めていたわけです。

BWB社は、公共事業プロジェクトでBIM指針への準拠を必要とすることに加えて、委託企業に対しBIM指針に準拠しているかの確認及びBIM機能に関する詳細なアンケートに回答するよう求めていることがわかりました。

「当社は、この分野におけるスキル及び専門知識を顧客に保証するために信頼できる独立した第三者から検証してもらう必要がありました。」とBWB社のアソシエイトデジタルリードDave Peacock氏は説明しています。

コンサルタントがBIM Level 2 設計及び建設の要求事項を順守しているというBSIによる認証は、公共事業及び民間事業において顧客にも同様にその保証を提供しました。

また、BWB社はBIM機能について根拠のない主張をする企業との差別化を図る方法も求めていました。「BIM機能を承認する様々な検証手法がありますが、それらのいくつかはBSIの検証ほど堅牢ではありません。当社は「簡単な勝利」ではなく、当社に可能なことを真に反映する徹底したアプローチを望んでいました。BSIを選択したのは、審査プロセスが最も強固と感じたからです。」とPeacock氏は言っています。

検証プロセス

BSIのISO 19650-2(PAS 1192-2)検証は、デジタルテクノロジーによるプロジェクト提供の新しいコラボレーション手法を採用し、複雑なインフラストラクチャプロジェクトをより迅速に安全にそして効率的に機能させる方法を提供することを証明できる企業に対して認証します。

BWB社が取った最初のステップは、Peacock氏及び同僚のアソシエイトデジタルリードであるFrazer Thorley氏が、個人に対するBIM Level 2認証を取得することにより、「BIM Informed Professionals」になることでした。その後、BSIのサポート及びガイダンスにより、認証に向け会社全体を整備し、2017年10月の認証達成に至りました。

認証は、同社のプロセスがPAS 1192-2:2013、BS 1192:2007及びBS 1192-4:2014に準拠しているかを検証する厳密なBSIの審査プロセスに従って行われました。BSIの経験豊富な審査員により、BIMの標準化されたプロセス及び手順が作成され、会社全体、及び英国の7つのBWB社オフィスすべてで完全に実施されていると結論付けられました。

Tier 1リードデザイナーとしてのBWB社のBIMの役割は、プロジェクト情報マネージャー及びBIMコーディネーターです。同社のTier 1認証は、BIM Level 2プロジェクトにおいて初期コンセプトから設計及び建設、

引渡しまですべての側面を決定、管理、及び提供できることを確認しています。具体的には、BSIの認証プロセスではコンサルタント業が次のとおりであることを確認しました。

- BIM要求のあるプロジェクトに関する責任事項を顧客にアドバイスし、依頼元の情報要求事項の作成を支援する
- 依頼元の情報要求事項に応じたBIM実施計画書の作成
- プロジェクトのBIMを主導するプロジェクト情報マネージャーとしての役割を担い、BIM調整及び不調和検出のための会議を実施しサプライチェーン情報を検証する
- サプライチェーンタスク情報配信計画に対応したマスター情報配信計画の作成
- 共通データ環境の設定及び管理
- Tier 2サプライヤー及びその下請け業者の管理及び評価

BSIはまた、BWB社が次の事項に関してサプライチェーンのTier 2メンバーとしてBIMの役割を果たしていることを確認しました。

- プロジェクトのBIM実行計画への準拠
- 社内のタスクチームの任命
- 各分野のタスク情報配信計画の作成
- 共通データ環境への準拠
- サプライチェーン評価フォーム及びBIM機能書類の記入

認証取得のベネフィット

BSIの検証認証によりサプライチェーン全体でデジタルテクノロジーを使用してTier 1顧客及びその他の顧客と効果的に共同作業する能力があることをBWB社の顧客に保証し、プロジェクトに付加価値を与え、無駄及び非効率な作業を排除することができました。

「当社はPAS 1192-2:2013及びBS 1192:2007のプロセスに長年取り組んできており、認証によって、BIM Level 2に関し業界リーダーの1つとして正式に認められました。」とPeacock氏は言っています。

彼は最後に次のように述べました。「BIM検証は、BIM及びデジタルソリューション一式を使用するプロジェクトの資本及び引渡し段階を通じて顧客をガイドする当社の能力を示します。BSIによる検証により、当社のBIM及びデジタル機能に対し信頼できる認識が得られます。」

お問い合わせ先

Email: Japan.Testing@bsigroup.com

ウェブ: bsigroup.com/ja-JP